



夢実現・挑戦

何事もウマくいく



新春を迎え、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。午年は“勢いよく駆ける”象徴とされます。本校の生徒が自らの目標に向かって一歩一歩着実に進み、学びを深められる一年となるよう、教職員一同努めてまいります。本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

冬休みに入ったばかりの12月26日（金）、新しく生徒会の役員になった13人が集まり、生徒会リーダー研修会を開催しました。今回の研修の目的は、役員としての心がまえの確認と生徒会テーマの決定、そして年間計画の作成です。本研修会に参加したメンバーは、全員が生徒会役員改選に立候補した人、または次の委員会委員長になりたいと手を挙げた人のみです。それだけに、一人一人の生徒会活動にかける思いが強く感じられ、目の色が違って見えました。終日の研修でありながら、集中力を切らすことなく、熱心に協議をする姿に、次の津奈木中生徒会の飛躍が大いに期待されます。



生徒も教師も成長を感じます



～管内初任者研修～

1月22日(木)、本校で管内の初任者研修が実施され、本校の2人の初任者が道徳科(2年)と保健体育科(1年)の代表授業を実施しました。

2年生道徳科の授業は「明かりの下の燭台」という昭和39年の東京オリンピックで活躍した女子バレーボールチームのマネージャーの献身的な支えを題材にしたものでした。うそ

津奈木中学校学校だより
令和8年1月27日
第13号
文責：校長 内場

くの下の燭台のように、集団の中で目立たないけど必要な存在への気づきと自分を取り巻く集団とそこでの自分の役割を振り返る授業でした。拳手の仕方、発表、学び合い、どれも大変立派で、2年生の学びの姿勢に参観者から多くの称賛の声をいただきました。



1年生保健体育科の授業は、器械運動。「倒立前転」に挑戦する授業でした。生徒同士で教え合いをしたり録画して技の出来栄えを確認したりしながら、技の習得に一生懸命取り組んでいました。集団行動の様子も見事で、生徒の動きも機敏で無駄のない動きでした。そこからは4月のあどけない姿はもう感じられませんでした。



参観に来られた初任者の先生方からは、津奈木中生の学びに向かう姿勢に驚きと称賛の声が多く寄せられました。授業を行った初任者の二人も、堂々とした姿で臨み、この一年間の取組の成果を十分に発揮できたと感じています。

授業後の研究会には、生徒の代表も参加し、生徒目線で何を学んだのかをそれぞれ発表していました。2年生の浦口さんは、道徳の授業に関連して、『津奈木中の現状』と『生徒会長として自分にできること』を聞かれ、次のように答えていました。



縦と横のつながりを意識して取組を進めている。仲は良いが、楽しすぎて羽目を外すこともある。周囲の些細な変化に気づき、友達や学校の環境を整えていきたいし、そのことを学校全体に広めていきたい。

頼もしい言葉に、心が揺さぶられました。それぞれの成長を存分に感じられた一日でした。